

## 琉球古典音楽 舞踊を披露

静岡文化芸術大

静岡文化芸術大文化芸術研究センターは21日、「室内楽演奏会2018 シリーズ音楽の力『伝える』」(静岡新聞社・静岡放送後援)を浜松市中区の同大で開いた。沖縄県立芸術大の教員や学生ら4人が、約500年前から伝承されてきた琉球古典音楽や舞踊を披露した。

出演したのは沖縄県立芸術大の山内昌也准



琉球古典舞踊「作田」を披露する出演者  
＝浜松市中区の静岡文化芸術大

教授や同大卒業生でプロの舞踊家として活動する西村綾乃さんら。三線(さんしん)や箏(そう)のゆったりとした演奏に合わせ、暑い夏の日に扇の心地よい風を感じる情景を表現した舞踊「作田」を披露した。演奏時間15分の大曲「茶屋節」も斉唱した。

山内准教授は琉球古典音楽や舞踊について説明し、「太平洋戦争後の何もない時代に、(沖縄の)人々が生き抜く力になった」と語った。